

文芸

俳句

ものすべて新元号の五月来る
伊藤 敬子

連休の初日は田植後ごろ寝
今関満喜子

衣更え箆筒の底の古新聞
魚地 照子

風のでて村の社の椎若葉
宇野とし子

青梅や竹で落しておすそ分け
加瀬 俊昭

時移り早乙女見えず死語となり
川島 通則

三代の御代を歩みて五月晴
向後 寛

朝茶汲む般若心経花の雨
越川せつ子

芝桜大地を飾る花の海
小松 藤男

春泥をさけつつ歩む白い杖
佐瀬 輝夫

暮るるほど代田の光り迫り来る

土屋美枝子

病窓へ海風連れて夏燕

土屋 義昭

満開の花のあわれや春の雪

西崎さち子

逃げる子を追うて寄す波夏に入る

藤田 雅夫

短歌

庭樹々の葉のさゆらぎを濃く淡く
朝の障子に影のおもしろ
越川 義則

代掻きの音しづもりて田植待ち
夕餉の後の蛙の合唱
内藤 くに

……

オリーブの丘より見ゆる瀬戸内の
海は光をたたへてゐたり
西山満里子

息子の名語る電話に一瞬の
戸惑ひあれど声に見破る
田崎 尚美

おぼろ夜の田圃賑はず蛙ゐて
吾の足音にピタリ止みたり
押尾 輝子

初物の筍もらいその中に
糠も三つ葉も添えられてあり
加瀬 弘子

限りなく丘へと続く芝桜の
花に魅せられ傍へを歩む
水須 俊

釣り人の投げたる糸の春日受け
ありなしの風に光をかへす
芹川 初子

さみどりの芝崎の山へ疾風は
頭上をこえて早苗田こえて
椎名美枝子

美しく心寄せ合い文化生む
令和の意味にうなずきており
斉藤 博

山鳩の鳴きつぐ声にわが夫と
語りあひたる若き日思ふ
斉藤つね子

作品展

- ◎町民会館ミニギャラリー
 - 6月 アート押し花クラブ
 - 7月 写友会
- ◎文化会館ロビー展
 - 6月 展示なし
 - 7月 展示なし
- ◎銚子商工信用組合展
 - 6月 横芝写真クラブ
 - 7月 展示なし
- ◎カスミ展示コーナー
 - 6月 横芝写真クラブ
 - 7月 短歌会

消費生活 なび NO.110

「あれ?」と思ったらまず相談

新しい年号を向かえ、今後、「改元」「東京オリンピック」「新札発行」等を利用した、悪質な詐欺が増加することが考えられます。こうした詐欺は他人事ではなく、いつでも誰でも被害に遭う可能性がありますので、怪しい電話や封筒が届いたときは、周囲に相談しましょう。

騙し取られたお金は戻ってきません。また、キャッシュカードの暗証番号を他人に渡すことは「本人による重大な過失」にあたるため、被害に遭ってしまった場合でも保障されません。

早めの相談は、早期解決につながります。「あれ?」と思ったときは、まず相談してください。

消費生活相談所開設日

毎週火曜日 午前10時～午後4時
※正午～午後1時を除く

消費生活相談室(産業課内)

☎84-1233

